



うんちの中に、トウモロコシがあったけど、なぜ消化しないの

トウモロコシを、よくかまなかったから

わたしたちが食べているのは、トウモロコシの種の部分です。トウモロコシだけでなく、わたしたちが食べている物の中には、お米やマメやゴマなど、種の部分を食べている物が多く、たいてい種の外側の皮はかたいのです。うんちの中に、トウモロコシがあったのは、よくかまなかったために、トウモロコシが消化されず、そのまま出てきたからです。

食べた物がうんちになるまで

わたしたちの体には、食べた物を細かくし、さらにどろどろにして、体に必要な栄養をとるための、しくみがあります。栄養をとることを吸収といい、栄養をとりやすいように、どろどろにすることを、消化といいます。

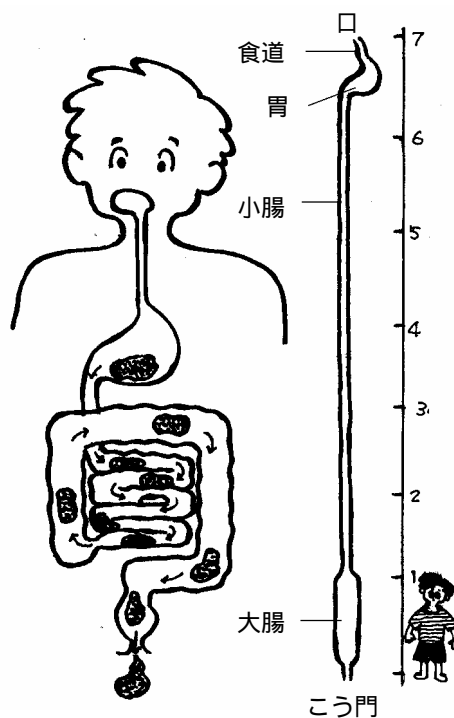
食べ物の中には、栄養になるものと水分、そしてかすになるものが入っています。

口から入った食べ物は、まず歯でかみくだかれ、だ液と混ぜ合わされて胃へいきます。

そして、胃で細かくされて(消化)小腸へいき、小腸で栄養が吸い取られ(吸収)ます。

大腸に入ると、水分が吸い取られ(吸収)、残ったかすが、うんちになって、体の外へ出されるのです。(監修・保志 宏)

食べ物が「うんち」になるまで



口からこう門までの長さは、その人の身長7倍にもなる

